

令和7年度 第2回神栖市学校二学期制検討委員会 議事録

1 日 時 令和7年7月4日（金）15：30～16：30

2 場 所 神栖市役所 本庁舎3階 庁議室

3 出席者 委員長 多辺田弘之：市校長会代表

副委員長 佐々木 仁：市副校長・教頭会代表

委 員 川原 達也：小学校 PTA 代表

田邊 明：小学校 PTA 代表

新井 崇人：教育委員会教育部長

山本 勝：教育委員会学務課長

（事務局）羽石 哲也：学務課課長補佐

長末 憲子：教育指導課指導主事

川島友美子：教育指導課指導主事

石川 伸也：中学校 PTA 代表

伊東和可奈：中学校 PTA 代表

保立 純子：教育委員会教育次長

浅沼 博：教育委員会教育指導課長

伊奈 大輔：教育指導課課長補佐

増田 満彦：教育指導課指導主事

欠席者 委 員 稲垣 幸子：幼稚園 PTA 代表

4 議 事

1. 委員長挨拶

2. 協議（多辺田委員長が議事を進行）

（1）他市の状況について

①事務局から

○鹿嶋市、大洗町、小美玉市、稲敷市、つくばみらい市など二学期制を実施している他自治体教育委員会から効果やデメリットなどの聞き取り結果について説明。

②委員からのご意見

○他自治体からデメリットとして上がっている内容は、スタートしてみて保護者から意見を聞きながら変えていけるものであると思う。各学校の特色がよく出ると思う。

○他自治体から聞いたメリット・デメリットは、この会議でこれまで出た意見と遜色ないと感じる。テスト範囲が広くなるというデメリットは、範囲を絞った小テストを何回かやることによって改善でき、学校の考え方・工夫一つであるので、デメリットとは言えないと思う。また、神栖市ではこのような会議を開いて協議しているので、保護者が声を上げたときにその声を予測でき、しっかりと説明・対応しやすいと思う。

○成績の付け方は、各自治体とも校長会の意見を元に変えていることが分かったのは、教員でない

自分にとっては新しい発見であった。実際に始まってから成績の付け方やその対応など、規模の違いや近隣校などの学校が違う母親同士の比べ合いがあると思うが、それに振り回されないようにできればいいと思う。

○これまでのアンケートなどでもあった保護者の方の心配な点や疑問点についても、今回提示の保護者への広報案で答えていただけていると思う。始まる前の段階で考えうるデメリットは潰していった方がよい。

(2) よりよい学期制の方向について

○(2学期制を) やってみることが大事

○最初のアンケートでは、3学期制の方がいいのではと思っていたが、この会議に参加していろいろな話を聞いて、2学期制をやってみてもいいのではと思い始めた。

○小学校低学年あたりは混乱するかなと思っていたが、デメリットへの対策も大分考えることができた。先生方が子どもたちの方を向く時間が長くなる方がいいと思うので、2学期制導入に賛成したい。

○(兄弟がおり) 高校ですでに2学期制を経験して知っていたので、小中学校が変わったとしても大きな影響は無いと思う。

→各委員からの意見を元に2学期制の導入を答申することで決定。

(3) 答申(案)について

事務局から答申案について説明

主な提言(抜粋)

①評価制度の充実

・通知表の回数が減ることによる不安を解消するため、学期の中間における学習状況のフィードバック機会(個別面談・学習報告書・保護者会など)を積極的に設けることを提言する。

②進路指導の強化

・受験へ影響が出ないよう、高等学校等との情報共有を徹底するとともに、調査書の作成や評価基準の明確化に努めることを提言する。

③保護者・地域への丁寧な説明

・制度変更の趣旨と利点を継続的に説明し、保護者・地域の理解と協力が得られるよう、広報活動と相談体制を充実させることを提言する。

(4) 広報活動について

①今後の予定(事務局より)

令和7年10月 市校長会で各校に周知

11月 市広報及びホームページで保護者・地域の方々へ周知

また、小学校新入生保護者には、就学時健康診断の際に周知を予定

②広報原稿を確認

→委員より「ゆとりのある教育活動」という言葉は、かつての「ゆとり教育」のイメージがあまりよくないため、文言を変更した方がいいのではないか。

3. その他

○教育長への答申は8月中を予定。

→答申日の出席者は、代表として多辺田委員長・佐々木副委員長が出席する。

○答申案の修正等があれば、7月11日(金)までにご連絡いただきたい。

○呼称は「前期・後期」とする。